

キリスト以外に救いはない

2026.10.14
聖書に学ぶ A-3
使徒の働き 4:1～22

目上の人、上司、先生などに誤解されて、辛い立場に立たされた経験はありませんか。
福音を語っても反論し、聞いてくれない人たちに、私たちは大事なことをきちんと話し、
恐れなくて、話す力が与えられなければ、なかなか語ることはできません。

しかしペテロを用いて、御聖霊は落ち着いてイエス・キリストのことを語る力与え、情報は提供しながら、相手を尊重し、自分で判断するよう勧める、慎みを与えられました。

今日の学びの要点

神様が死者の中からよみがえらされたイエス・キリストによる以外に、人間の救いはあり得ません。どのような権威も、力も、哲学や信条、律法も、この救いに至らせる信仰を伝える事を止めさせる事は出来ない。

I、捕らえられたペテロとヨハネ (使徒の働き 4:1～11)

1、近寄って来た宮の役人たちは、どうしてペテロたちに気を^{いらだ}苛立て、彼らを捕らえたのでしょうか。

①気を苛立たせた理由 (使徒の働き 4:2)

- ・ ペテロとヨハネが教えを説いていた… 何の資格もない者は教えるはいけない
- ・ 教えの内容：イエス様の無実の十字架と、死から復活を伝えていた
- ・ 多くの者が聞き入って、信じた人が 5000 人 (使徒の働き 4:4)

②ペテロたちを捕らえた理由 (使徒の働き 4:3)

- ・ 議会で決定され、施行されたことに反対したと思った

2、ナザレのイエスの名によって、足の不自由な人が癒やされてから、ペテロとヨハネの2人が留置場に入れられるまで、どのくらい時間が経っていたのでしょうか。 (使徒の働き 4:3)

※美しの門で、足の不自由な人と出会った時刻 ～ 日が暮れる時刻 (時は初夏)

Ⅱ、反対されたときの、ペテロの対応

(使徒の働き 4:5～22)

1、大祭司や議会に集まった人々がペテロたちの弁明を聞き、不思議に思った事が2つあります。何と何でしょうか。

①無学な普通の人なのに、大胆に語っている… イエスと共にいた(4:13)

②生まれつき足の不自由な人が立っている。(使徒の働き 4:14)

2、ペテロはこの男の癒やしは、何の権威によって、誰の名によってなされたと説明していますか。(使徒の働き 4:10)

・何の権威か：神がよみがえらせた方

・その方の名は何か： イエス ・ キリスト (主イエス自身の祈り、ヨハネ 17:2～3)
(人の名前) (メシヤ救い主)

Ⅲ、御霊による大胆さ

1、かつて恐れに捕らわれて、主を否んだペテロは、今、何を畏れているのでしょうか。(使徒の働き 4:19)

2、大祭司や議会に集まった人々は何を恐れているのでしょうか。

(使徒の働き 4:10)

3、Ⅱコリント 4：3～4 から、どんなに奇跡が起きても信じない人は信じない。この理由を知りましょう。

①サタンにより、福音に覆いを掛けられている。

②人の心の思いを眩ませられ、キリストの栄光が見えないようにされている。